

令和 5 年度第 2 回古賀市総合政策検証会議 後日回答事項

資料	ページ	質問	回答
2	15	<p>基本的政策（3）安心して暮らせるまちづくり 施策②</p> <p>令和 4 年度実績に「市防災メールの多言語・やさしい日本語での配信や防災ゲームアプリの実証実験などに取り組み」とあるが、やさしい日本語での配信というのは、どのぐらいの外国籍住民に配信されたのか。これも実証実験の 1 つであれば、この実証実験の結果というのはどういうものだったのか、成果等について伺いたい。</p>	<p>市防災メールの多言語化・優しい日本語での配信は令和 4 年度に開始し、同年度中に 22 件の防災メールを多言語化し配信しました。今後は登録者と配信内容の拡大を図ります。</p> <p>実証実験に取り組んだ防災ゲームアプリ「防災 GO!」は福岡工業大学と株式会社 CTI グランドプランニングが開発した位置情報データと地域の防災情報を組み合わせた防災ゲームアプリです。市内小学校で実施した防災イベントの際、参加児童とその保護者がゲームを体験し、感想やデータを基にアプリの改善が進んでいると伺っています。防災意識の向上につながったとの声もあり、実証実験への参加による啓発効果もあったものと考えています。</p>